

令和3年度動物愛護週間ポスターのデザイン絵画コンクール受賞作品

○最優秀作品（環境大臣賞）今年度動物愛護週間ポスターに使用

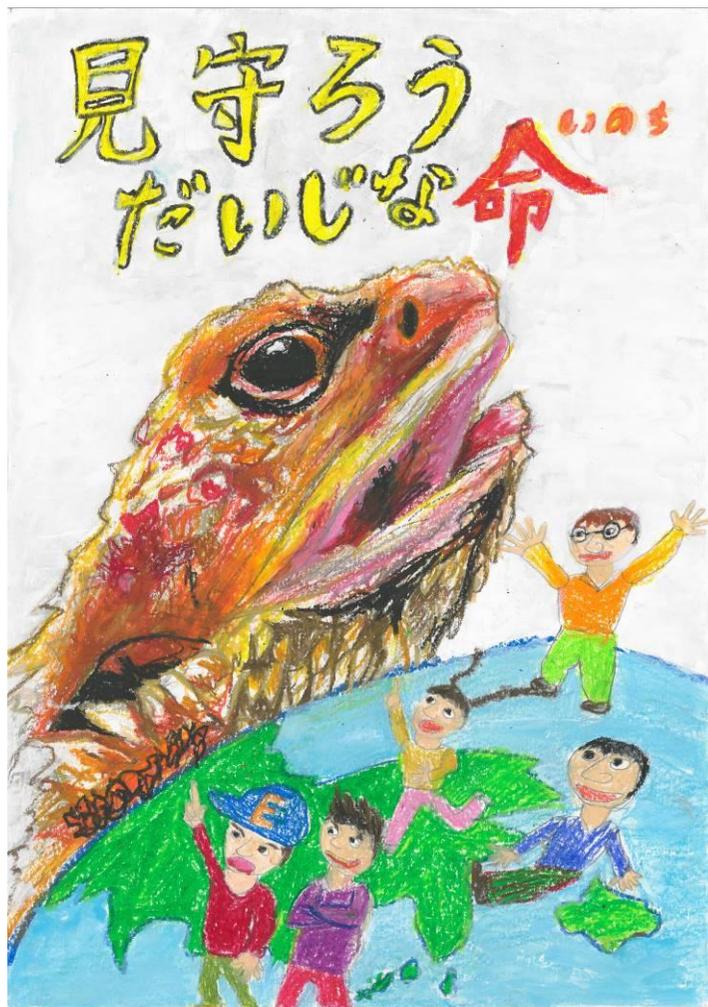


野崎 健太さん（鹿児島県在住）

◆作品に関するコメント

僕はネコが好きです。ペットは言葉は通じなくても、きっと気持ちは分かりあえると思います。そんな思いでやさしいネコと僕をかきました。

○優秀作品（動物愛護週間中央事実行委員会委員長賞）※50音順



小堀 瑛太さん（千葉県在住）

◆作品に関するコメント

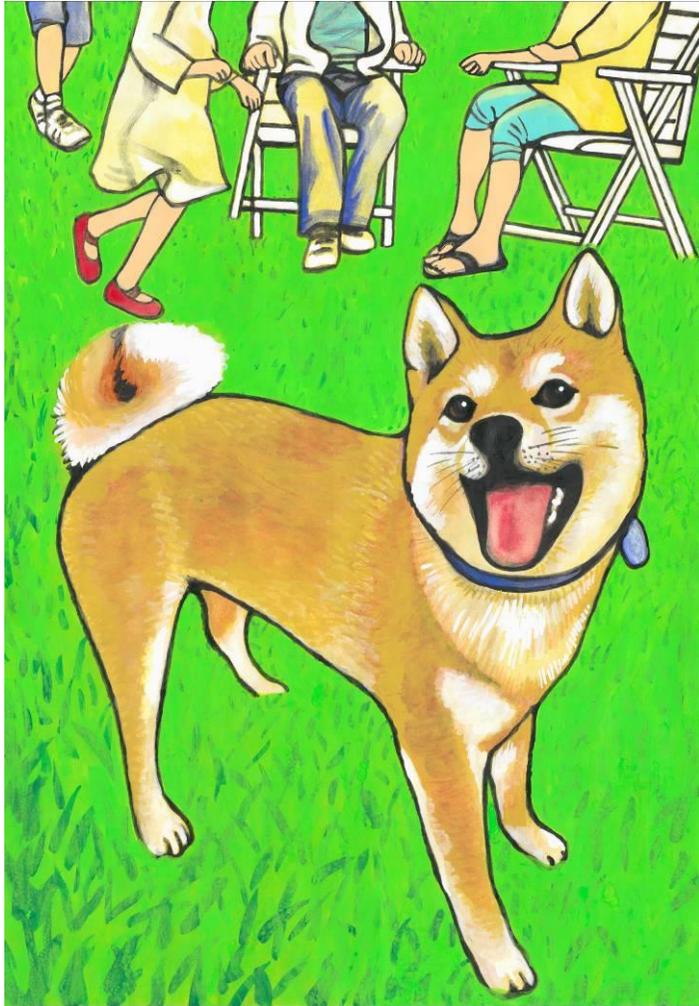
これは、ぼくが大すきなフトアゴヒゲトカゲです。さいきんヘビがだっそうしたというニュースを見ました。そこでぼくは、ちゃんとペットのだいじなのちをまもってあげないといけないなとおもいました。みんなで生き物を見守っていきけるしやかいになってほしいです。



高吉 暉花さん（鹿児島県在住）

◆作品に関するコメント

子供の話は高齢者には分かりづらく、高齢者の話は子供には面白くないことがあります。そこでペットがいると、子供と高齢者の世代の壁をなくしてくれます。ペットを通して、世代を繋いでほしいと思い、この絵を描きました。



柘植 雅一さん（愛知県在住）

◆作品に関するコメント

大事な家族の一員としてのペット。お互いに何が必要でどんな世界を構築していくべきかをキャッチコピーを入れずにペットが語りかける形で表現しました。



野崎 正博さん（鹿児島県在住）

◆作品に関するコメント

これからどんな時代が来てもペットは私たちのそばに寄り添ってくれる大切な存在であることは変わらないだろうという思いで、にぎやかで夢のある未来の世界を描きました。宇宙船の助手席にはペットもいて寄り添っています。



宮土 八咲さん（大阪府在住）

◆作品に関するコメント

ペットを迎え入れる時、ペットショップだけでなく保護犬と暮らすという選択肢もこれからは当たり前になってほしいなと思いつくりました。今まで頑張ってきた子たちにも、家族が出てきて幸せになる事をねがっています。